

地域密着型サービス自己評価票

- 。 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成20年4月22日
事業所名	グループホーム フレンズハウス草平
ユニット名	
事業所番号	2371000973
記入者名	職名 ホーム長 氏名 高間 淳也
連絡先電話番号	(052) 361 - 5090

自 己 評 価 票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームでは我が家の様に、笑顔に満ちた暮らしが出来る様にといった事業所独自の理念を作り上げている。また、地域との関わりも理念に入れている。 ○	今後も管理者・職員が一丸となって理念の実践を進めていきたい。
2	○ 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	
3	○ 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	事業所は、ご利用者様のご家族様や地域の人々からの理解を得られる様取り組んでいる。 ○	地域の方にはフレンズ便り、ご家族様にはフレンズ通信を発行している。
2. 地域との支えあい			
4	○ 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	管理者・職員共に、隣近所の方と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえる様な雰囲気作りに努めている ○	ホームにて行事を行う際、隣近所の方にも参加して頂ける様お声掛けをしている。
5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の一員として、老人会等の地域活動に参加し、地元の方々との交流に努めている。また、子供110番指定を受けており、少しでも地域に貢献出来る様に努めている。 ○	今後もより様々な活動に積極的に参加し、地域に貢献していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	○	散歩時ゴミ袋を持ってまわり、ゴミ拾いを行なう等、地域に役立つ様に取り組んでいる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者・管理者・職員共に、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	○	評価結果が出たらカンファレンスを開いて、改善点についての話し合いを続けたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご利用者様やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	○	二ヶ月に一回運営推進会議を行い、市町村とともにサービス向上に努めている。また、民生委員の方から、地域の行事を教えていただき、参加している。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	○	今後もより情報交換の機会を増やしていきたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者・職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。		現在二名の方が利用されている。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、ご利用者様の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意している。		入浴時等に、ご利用者様の全身状態をチェックしている。また、資料を配布したりと日々の業務の中で、虐待防止に向けて取り組んでいる。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○ 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約時には、可能な限り充分に説明を行い理解・納得していただける様努めている。		ご家族様にとって、話し易い雰囲気作りに努めている。
13	○ 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者様が意見・不満・苦情を伝えやすい雰囲気作りに努めている。また、訴えには傾聴しそれらを反映出来る様に努めている。	○	今以上に情報の共有に努め、運営に反映させていきたい。
14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	ご利用者様の暮らしぶりや健康状態・金銭管理・職員の異動等について、ご家族様個々に合わせた報告を行っている。		今後もより密に連絡を取り合い、情報の共有に努めていきたい。
15	○ 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様が意見・苦情・不満を言い易い雰囲気作りに努め、必要に応じて外部の苦情相談窓口の連絡先を案内している。		面会時等に、こちらから不安点・疑問点等を尋ねる様にしていきたい。
16	○ 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営者や管理者は、運営に関する職員の意見・提案を聞く機会を設け、反映に努めている。		日々の業務の中で話し合ったり、月一回のミーティングでも意見交換を行っている。
17	○ 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	ご利用者様の状態や行事に合わせて、必要な時間帯に職員を確保出来る様に話し合いを行い、勤務の調整に努めている。		ご利用者様の状態や行事に合わせて勤務を組んでいる。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動は最小限にし、ご利用者様に不安や心配を与えない様に人事を行なっている。		
5. 人材の育成と支援				
19	○ 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人一人に合った指導方法を検討し、実施する様に努めている。	○	資格取得を目指している職員に対しては出来る限りサポートしていきたい。
20	○ 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者と交流する機会を持ち、勉強会や相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	○	今後もより積極的に定例会等に参加していきたい。
21	○ 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。		運営者・管理者は職員の悩みや相談に耳を傾ける様に努めている。また、職員同士でも相談し合い、話し合う様に努めている。
22	○ 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○ 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご利用者が困っている事、不安な事、求めている事等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。	ご利用者様にとって、相談し易い・話し易い雰囲気作りに努めている。
24	○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族様が困っている事、不安な事、求めている事等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。	ご家族様にとって、相談し易い・話し易い雰囲気作りに努めている。
25	○ 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	一人一人に合った支援が出来る様に努めている。	
26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご利用者様・ご家族様とよく相談し、納得した上でサービスを利用して頂ける様に努めている。	無理強いする事なく、個別ケアに努めている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、ご利用者様を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながら支えあう関係を築いている。	ご利用者様からたくさんの知識や経験を教えていただき、役立てている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員は、ご家族様を支援される一方の立場に置かず、一緒にご利用者様を支えていく関係を築いている。		ご家族様からご利用者様についての色々な情報を伺い、サービスの向上に役立てている。
29	○ 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	これまでのご利用者様とご家族様との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している。		
30	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者様がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。		ご家族様や地域の方の助けを頂きながら、馴染みの場所や人との関係が途切れない様に支援している。
31	○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ご利用者様同士の関係を把握し、一人一人が孤立せずに関わり合い、支え合えるように努めている。		
32	○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用が終了しても、継続的な関わりを必要とするご利用者様やご家族様には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。		サービス利用が終了しても、必要に応じて相談等にのる様に努めている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント １．一人ひとりの把握			
33 ○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。		職員は個別ケアを大切にし、一人一人の思いや暮らし方を尊重し、支援している。
34 ○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。		ご利用者様やご家族様とのコミュニケーションの中で、出来る限り情報収集に努めている。
35 ○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。		
２．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	介護計画は関係者でしっかりと話し合い、無理のない計画をたてている。		カンファレンスには出来るだけご家族様にも参加していただいている。
37 ○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ご利用者様の状態に変化が見られた場合はその都度計画の見直しを行なっている。		介護計画を把握し、ケアプランチェックを行っている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	○ 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は個別記録に記入し、職員間での情報の共有に努めている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご利用者様・ご家族様の要望には出来るだけ柔軟な対応を心がけている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の方々の支援をいただき、連携して取り組んでいる。		
41	○ 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要に応じて支援をしている。		
42	○ 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域の権利擁護等を利用・連携している。		現在二名の方が利用してみえる。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週一回提携医院が往診に来ていただいているが、かかりつけの病院がある方についてはご利用者の希望を尊重している。		
44	○ 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	提携医院に相談・連携して支援している。		
45	○ 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	提携医院の看護師と連携しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。		医療面をはじめ食事のバランス等についてもアドバイスを頂いている。
46	○ 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	ご利用者様が入院した時に安心して過ごせるよう、ご家族様や病院関係者との情報交換や相談に努めている。		退院後も安心して過ごして頂ける様に情報共有にも努めている。
47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	状況の変化に合わせて、提携医院・ご家族様・職員が連携し、話し合いながら方針を考えている。	○	勉強会等でターミナルケアについての知識を深めていきたい。
48	○ 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご利用者様の状態変化について、小さな事でも気付いたら提携医院やご家族様に連絡・相談している。また、職員間での情報共有にも努めている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○ 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	生活の場を移られ、環境が変わる中で、少しでもご利用者様の不安や心配が和らぐ様に配慮している。また申し送り等、職員間での情報交換・共有にもつ努めている。	○	ご利用者様だけでなく、ご家族様にも十分な配慮をはらう。
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重				
50	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	管理者・職員共に、個人情報の取り扱いには充分注意している。		
51	○ 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご利用者様のお話を傾聴し、想いを理解した上で個々に合わせた説明をしながら暮らせる様に努める。		
52	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。		一人一人がホームの中で主役である様な支援を心掛けている。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○ 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	個々の意思を尊重出来る様努めている。また訪問理美容に来ていただいている。		お洒落な方にはお洒落を楽しんで頂ける様に支援している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しんでいただけるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、一緒に準備や食事、片付けをしている。		一緒に買物に行く事もある。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	出来るだけご本人の希望や好みを尊重して頂ける様に努めている。		ご利用者様の状態や体調面に配慮した上で、個々に楽しんで頂ける様に支援している。
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	出来る限りオムツには頼らずに、個々の排泄パターンを把握し、声掛けや誘導等する様に努めている。		失禁された場合には周りに気づかれない様に配慮をし、ご本人様が傷付かない様に支援している。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。		入浴なかなかすすまないご利用者様にはタイミングを考えながら対応している。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人一人の生活習慣を理解し、それに合わせた支援を心掛けている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人一人の、趣味や希望を尊重して思い思いに過ごしていただける様に努めている。		個性を大切にした支援に努めている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○ お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には金銭管理は職員で行なっているが、何を買うか・何に使うかに関してはご利用者様の希望・意志を尊重している。		外出先でお土産を買われたり、趣味に使われたりと、ご本人様の意思を尊重している。
61	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホーム内だけで過ごすのではなく、散歩に出かけたり外出行事を取り入れ、色々な経験をして頂ける様に支援している。		天気の良い日は毎日散歩に出かけ、それ以外にも週一回の外出行事を企画している。年一回の泊旅行も行なっている。
62	○ 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	外出行事を企画する際には、ご利用者様の希望を伺って可能な限り実現出来る様努めている。		三月には内海に泊旅行へ出かけた。ご家族様にも参加していただいて楽しい思い出ができた。
63	○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を掛けたり、手紙のやりとりが出来るように、一人一人の応じた支援をしている。		電話に関しては、ご家族様の状況を職員が把握した上で、希望にそえる様に努めている。
64	○ 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	誰でもいつでも遊びに来られる様な雰囲気作りに努めている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○ 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	会話を重視し、個人を否定しない事を心掛けて、拘束や強要はしない様に努めている。		資料を配布したり、日々の業務の中で身体拘束防止に取り組んでいる。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵はかけずに開放的な空間作りに努めている。	○	今後も積極的に取り組んでいきたい。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員はご利用者様のプライバシーに配慮しながら、昼夜通してご利用者様の所在や様子を把握し、安全に配慮している。		夜間帯は一時間おきに巡回を行なっている。昼間もご利用者様の所在や様子を把握し、安全確保に努めている。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物品等は職員が情報を共有し、必要ならば職員で管理する等して危険を防ぐ様に努めている。		アルコールを飲む事により、他のご利用者様に迷惑を掛ける可能性のある方はノンアルコールビールにて対応している。また、ご本人と話し合い、一日一本とし職員が管理している。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	勉強会等にて知識向上に努め、マニュアルもいつでも見る事が出来る様にしている。		
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	以前は外部研修に参加したり、ホーム内で勉強会を開催する等していたが最近は行っていない。	○	今後は救命救急の講習に参加する等、勉強の機会を増やしていきたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地震・火災に備えた避難訓練を実施している。		5月に夜勤帯に発生した火災を想定した避難訓練を予定している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	一人ひとりに起こり得るリスクについてご家族様に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。		ご家族様にはホーム内で起こり得るリスクについて、説明し理解して頂いている。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	ご利用者様に異変・変化が見られた場合は小さな時でも必要と感じた場合はご家族様・提携医院に報告・相談している。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は、一人ひとりが使用している薬やその作用について意欲的に勉強している。		ご利用者様に処方された薬に変更があった場合はとくに注意して様子観察をする様に努めている。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘予防のために、食事の調理方法に工夫をしたり、ミネラルを多く含んだ水を使用している。また、毎日体操を行なっている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後に口腔ケアを行なっている。		義歯の衛星面にも充分気を配っている。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分量は一人一人の状態・食欲等を考え、少しずつ調整している。		好き嫌いの多いご利用者様に対しても、調理方法の工夫や声掛けにて栄養が偏らない様に努めている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	職員・ご利用者様の手の消毒や、汚物等の処理時には細心の注意をはらっている。また、感染症マニュアルを作成し、職員間の情報共有に努めている。		勉強会等にて、感染症について学ぶ機会を増やしたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所、調理用具等の衛生管理をはじめ、食材の使用と管理についても充分努めている。		毎日、夕食の調理後に使用した器具類の消毒を行っている。
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関は施錠せずに開放し、ご家族様や地域の方に気軽に立ち寄っていただける雰囲気作りに努めている。	○	玄関周りに植物を植える等、今以上に明るい雰囲気にしたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間はご利用者様にとって快適で過ごしやすいよう工夫している。		特にリビングはご利用者様の憩いの場になっている。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の中には、独りになれたり、気の合ったご利用者様同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。		気兼ねなく、思い思いの時間を過ごしていただける様な空間作りを心掛けている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている	居室内はご入居者様・ご家族様の希望を尊重 し、使いなれた物や好きな物を自由に置いていた だいている。		各居室を見るとご利用者様一人一人の個性がよ く出ている。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	職員が訪室した際や、夜間巡回時などに確認し 調節している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、 安全かつできるだけ自立した生活が送れる様 な構造になっている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	ご利用者様とのコミュニケーションの中 で、一人一人についてしっかりと理解・把握 した上で支援をしている。		ご自分でできる事と手伝いが必要な事を理 解・把握した上で支援をしている。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	季節に応じて、テラスにてお茶やバーベ キューをする等している。	○	建物の周りも明るい雰囲気になる様飾り を加えるなど工夫を加えていきたい。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ 大いに増えている ○ 少しずつ増えている ○ あまり増えていない ○ 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ほぼ全ての職員が ○ 職員の2/3くらいが ○ 職員の1/3くらいが ○ ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ほぼ全ての利用者が ○ 利用者の2/3くらいが ○ 利用者の1/3くらいが ○ ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ほぼ全ての家族等が ○ 家族等の2/3くらいが ○ 家族等の1/3くらいが ○ ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

フレンズハウスの名の通り、ご利用者様同士や職員とご利用者様が友とふれ合う様に、家族の様に過ごす時間の中で、一人一人いきいきと過ごしていただいています。